

唐戸商店街地区の利用実態に関する調査
～下関市役所職員を対象としたアンケート調査結果から～

杉 浦 勝 章
森 邦 恵
横 山 博 司

関門地域研究 Vol. 21

2012年3月発行

関門地域共同研究会
北九州市立大学・下関市立大学

第2章 唐戸商店街地区の利用実態に関する調査

～下関市役所職員を対象としたアンケート調査結果から～

下関市立大学経済学部 杉浦勝章、森 邦恵、横山博司

はじめに

本研究は、唐戸商店街地区の商業振興に有効となる施策を検討するために、その利用状況について調査を実施しようとするものである。今回の調査では、下関市役所職員のうち唐戸地区に勤務する職員を対象に、利用実態に関するアンケート調査を実施した。下関市役所は唐戸商店街地区に隣接して立地しており、周辺地区最大の潜在需要者を有する組織である。そこに勤務する職員は比較的に利用する機会が多いと考えられるが、実際の利用状況は検証されていない。したがって職員を対象とした本調査は、唐戸商店街地区の現状、優位性、問題点などについて、一定の示唆を得ることが期待できる。ただし、その立場上、一般住民とは異なる回答傾向が出る可能性についても、留意しておく必要がある。

1 アンケート調査の概要

実施日時 2012年1月中旬

調査対象 下関市役所職員のうち唐戸地区に勤務する職員

配布数 1,190

回収数 966

回収率 81.1%

2 回答者の属性

(1) 年齢

回答者の年齢は、30歳代が36.3%と最も多く、以下、40歳代が26.6%、50歳代が18.6%、20歳代が16.7%などとなっている。

(2) 性別

回答者の性別は、男性が71.8%、女性が28.2%となっている。

図1 回答者の年齢 (N=966)

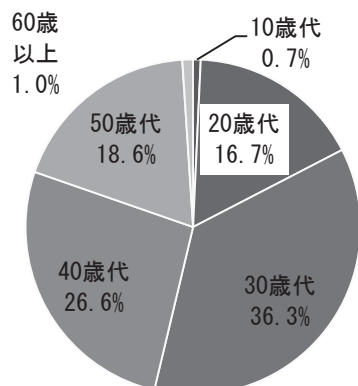
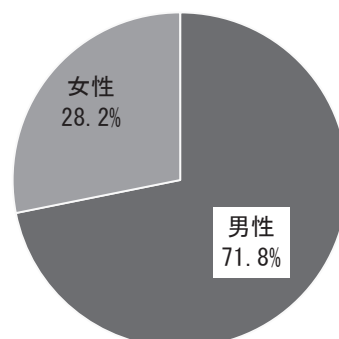


図2 回答者の性別 (N=966)



(3) 家族構成

回答者の家族構成は、2人以上の世帯が84.5%、単身世帯が15.5%となっている。

(4) 通勤手段

回答者の職場までの主な通勤手段は、自家用車が51.0%と最も多く、以下、バス・JRなどの公共交通機関が27.7%、徒歩が11.2%、自転車が5.6%、バイク・原付などの二輪車が4.1%などとなっている。

図3 回答者の家族構成 (N=963)

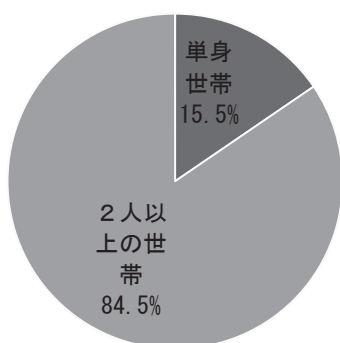
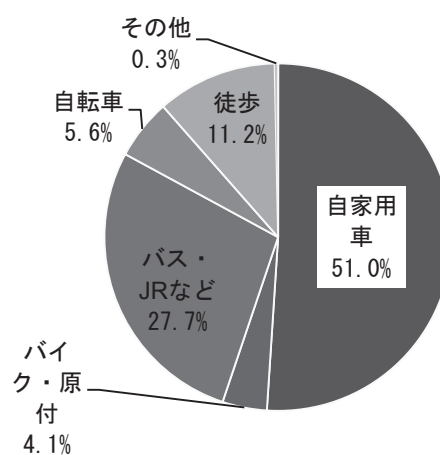


図4 回答者の主な通勤手段 (N=966)



3 唐戸商店街地区の利用状況

(1) 唐戸商店街地区での昼食利用の頻度

唐戸商店街地区での昼食利用の頻度を尋ねた問いに対しては、めったに利用しないが49.7%と半数近くを占めている。以下、月1～2回程度が23.3%、週3回以上が15.8%、週1～2回が11.2%となっている。

このうち、めったに利用しないと回答した以外の利用者に、一番多い利用内容を尋ねたところ、個人食堂が49.6%ともっとも多く、以下、コンビニ・チェーン店系食堂が28.2%、出前・弁当配送が12.8%、パン・弁当等テイクアウトができる店が9.0%などとなっている。

図5-1 唐戸商店街地区での昼食利用の頻度

(N=957)

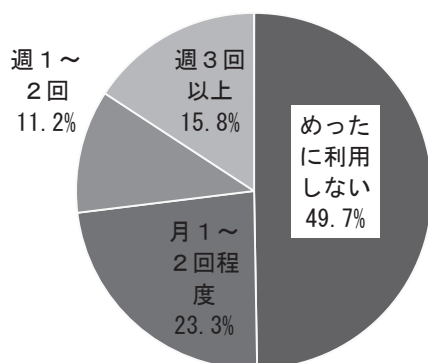
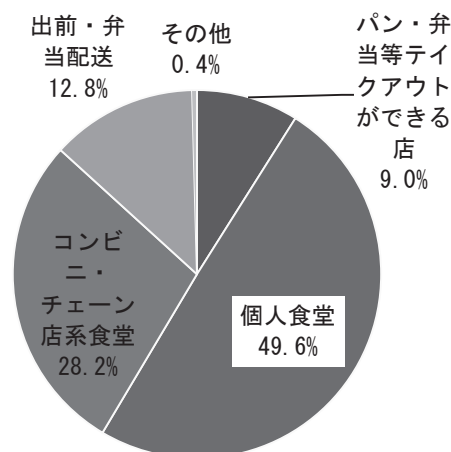


図5-2 一番多い利用内容

(N=468)



(2) 唐戸商店街地区での終業後の飲食の利用頻度

一方、唐戸商店街地区で終業後に飲食で利用する頻度を尋ねた問いに対しては、めったに利用しないが78.6%と大部分を占めている。以下、月1～2回程度が19.4%、週1～2回が1.3%、週3回以上が0.7%となっており、昼食利用と比較して利用頻度が低いことがうかがえる。

昼食利用と同様に、めったに利用しないと回答した以外の利用者に、一番多い利用内容を尋ねたところ、居酒屋が59.3%ともっとも多く、以下、個人食堂が16.0%、食事レストランチェーン店が10.3%、スナック・バーが8.8%などとなっている。

図6-1 唐戸商店街地区での終業後の飲食の利用頻度

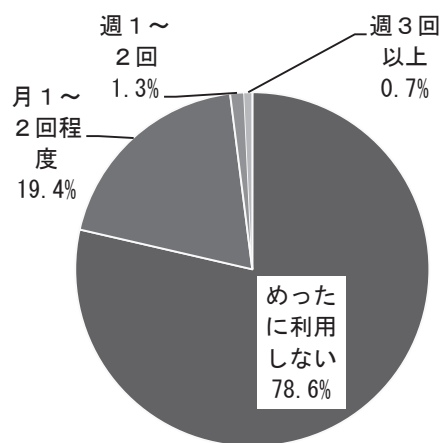
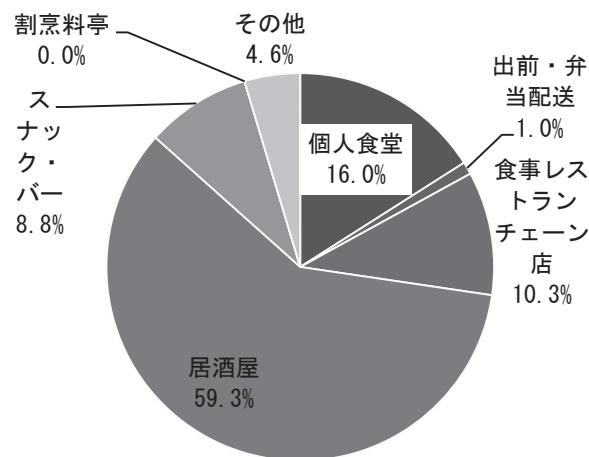


図6-2 一番多い利用内容

(N=949)

(N=194)



(3) 飲み会の実施場所と利用頻度

飲み会を実施する場所と利用頻度を尋ねた問いでは、選択肢として設けた唐戸商店街地区、豊前田、グリーンモール、山の田・新下関地区、門司・小倉地区、個人宅のうち、豊前田の利用頻度が比較的高く、次いで唐戸商店街地区が高くなっている。

唐戸商店街地区について見てみると、年1～2回の利用という回答が62.3%でもっとも多く、めったにしないが24.8%、月1～2回が12.6%などとなっている。年齢別では50歳代の利用が相対的に多くなっている。また、性別・家族構成別では、単身女性の利用が相対的に多い。

図7-1 飲み会の実施場所と利用頻度

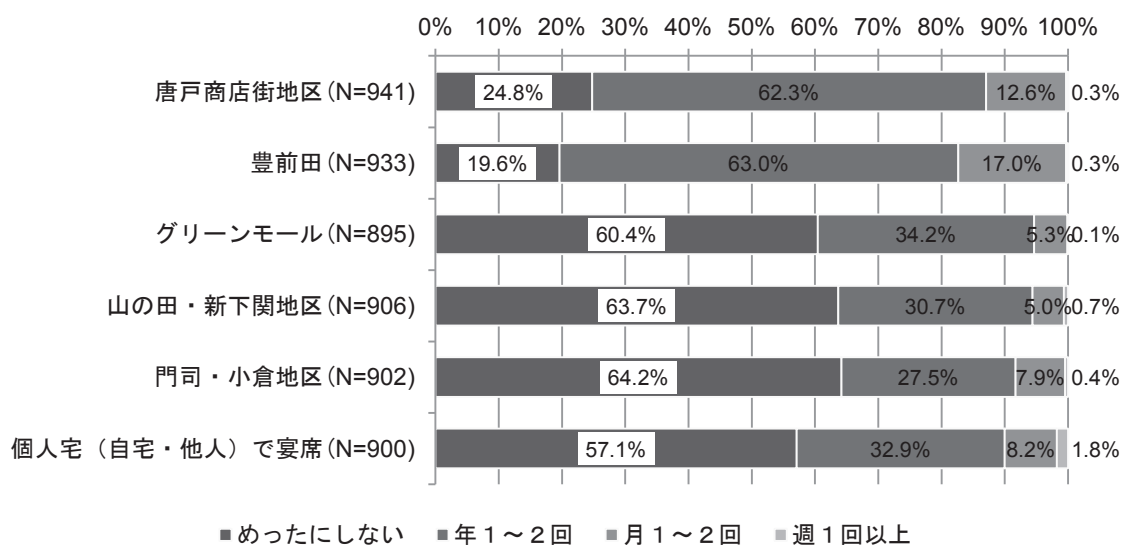


図7-2 年齢別に見た唐戸商店街地区における飲み会の利用頻度

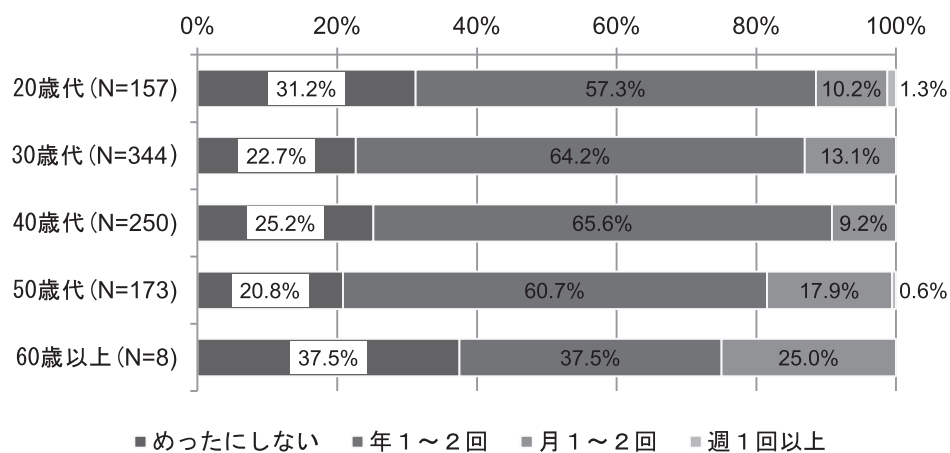
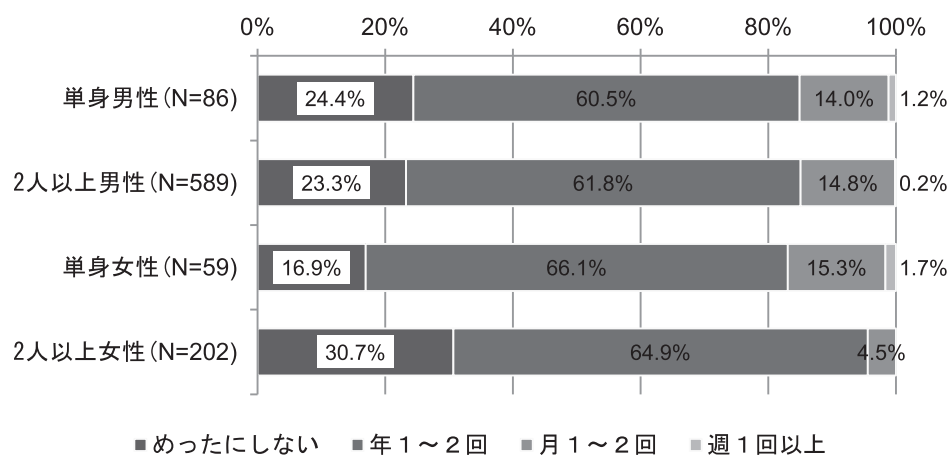


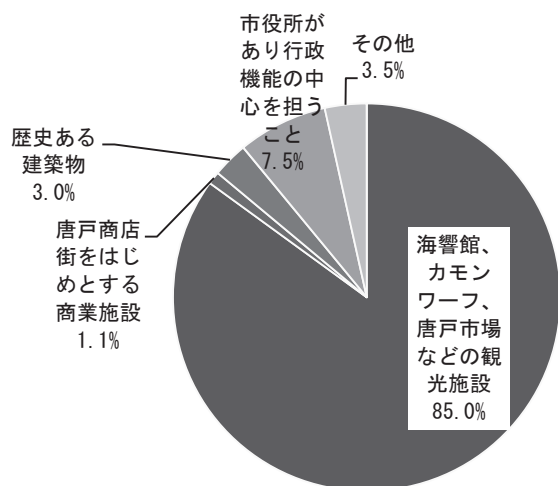
図7-3 性別・家族構成別に見た唐戸商店街地区における飲み会の利用頻度



(4) 唐戸地区の魅力

唐戸地区についてもっとも魅力であると思う点を尋ねた問いでは、海響館・カモンワーフ、唐戸市場などの観光施設という回答が85.0%と圧倒的に多くなっている。その他の回答はいずれも10%に満たない。

図8 唐戸地区のもっとも魅力であると思う点 (N=947)



(5) 唐戸地区周辺での日用品の購入頻度

唐戸地区周辺の商業施設において、日用品の購入頻度を尋ねた問いでは、コンビニエンスストアの利用頻度が相対的に高く、選択肢の中では唐戸商店街にある個人商店はもっとも低くなっている。唐戸商店街にある個人商店について、年齢別に見てみると若年層ほどその利用頻度は少なくなっている。

日用品の購入については、自宅周辺での購入が多いことも考えられる。そこで、通勤手段別の結果を見てみると、唐戸周辺地区に居住していると考えられる徒歩または自転車による通勤者の回答は、他の通勤手段の利用者よりも利用頻度が高くなっている。しかし、月1～2回の利用という回答が、自転車で13.2%、徒歩で11.3%であり、必ずしも高いとは言えない水準にとどまっている。

図9-1 唐戸周辺地区での日用品の購入頻度

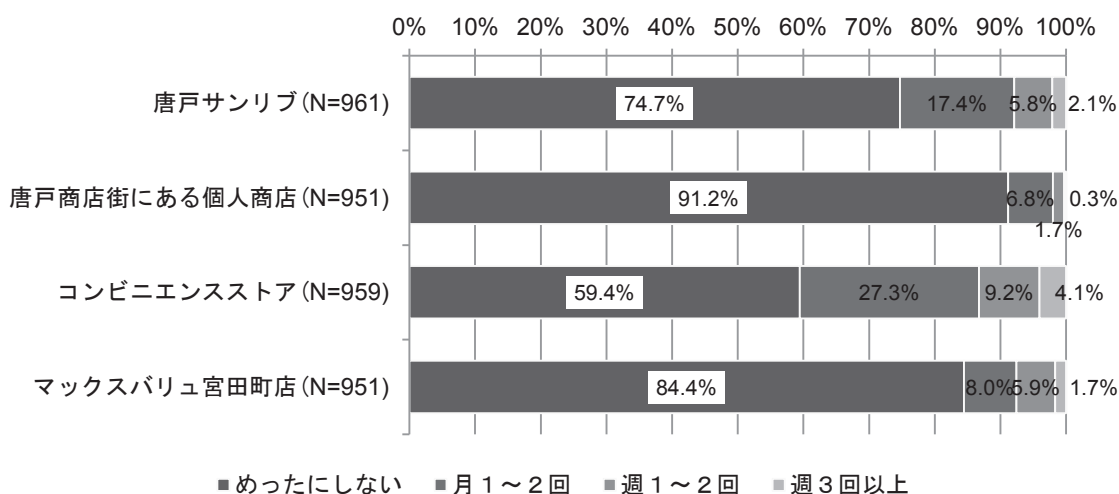


図9-2 年齢別に見た唐戸商店街にある個人商店での日用品の購入頻度

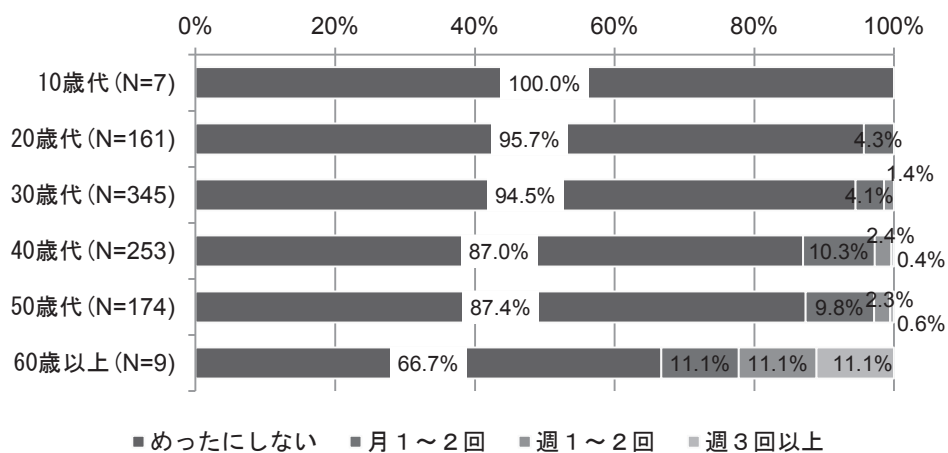
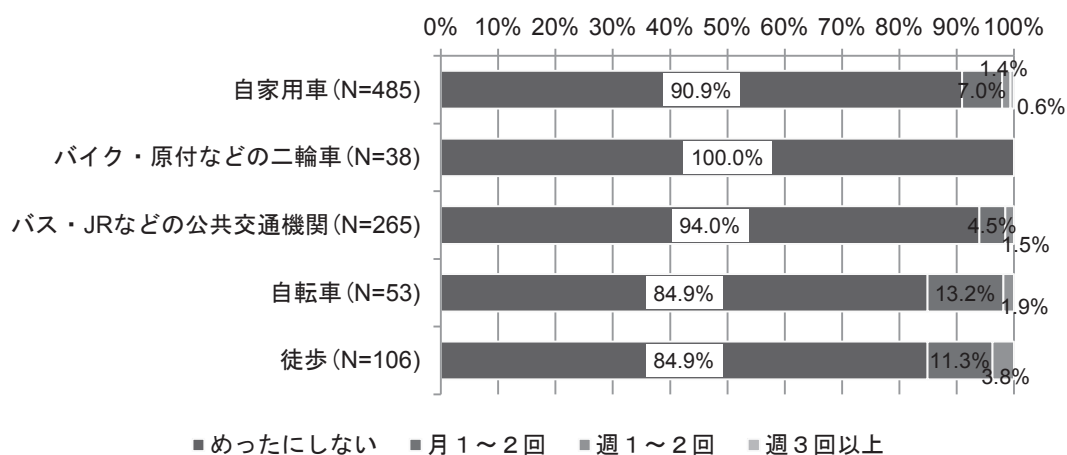


図9-3 通勤手段別に見た唐戸商店街にある個人商店での日用品の購入頻度



(6) 出勤日以外の商業施設等の利用頻度

休日・祝日等、出勤日以外に唐戸地区の商業施設や観光施設、唐戸地区と競合すると思われる商業施設をどの程度利用するかを尋ねた問いでは、唐戸地区の施設ではカモンワークや唐戸市場の利用頻度が相対的に高くなっている。しかし他地区との比較では、下関大丸・シーモールやゆめシティ周辺の利用頻度が高く、唐戸地区を大きく上回っている。

また、唐戸商店街の利用頻度を年齢別に見ると、若年層ほど利用頻度が低くなっている。

図 10-1 出勤日以外の商業施設等の利用頻度

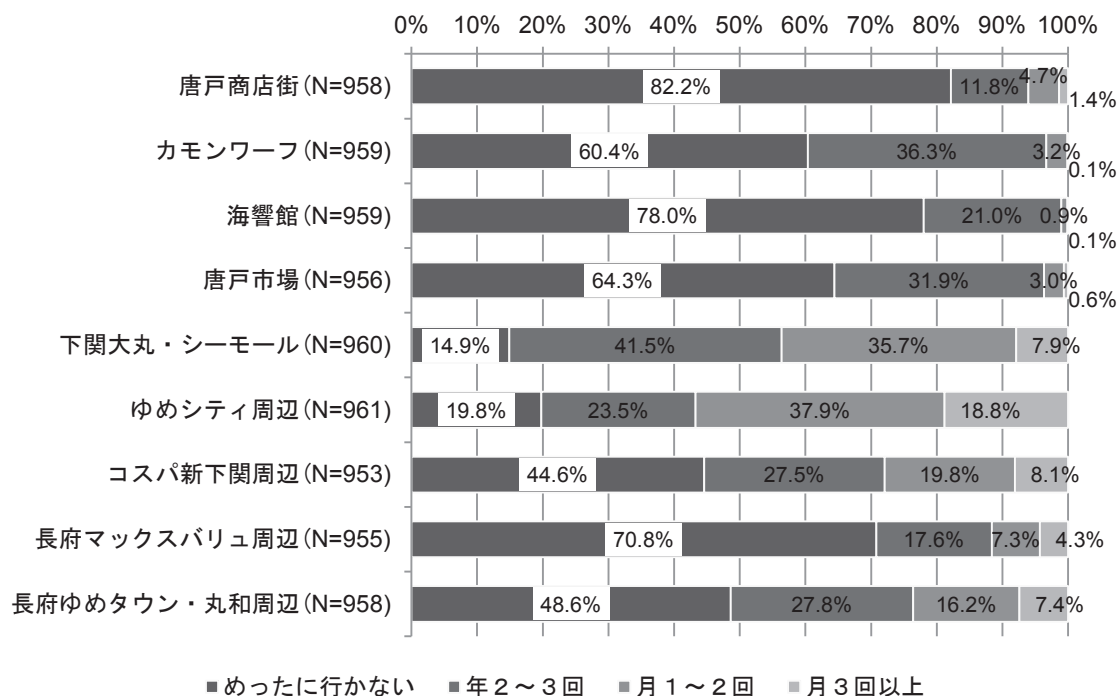
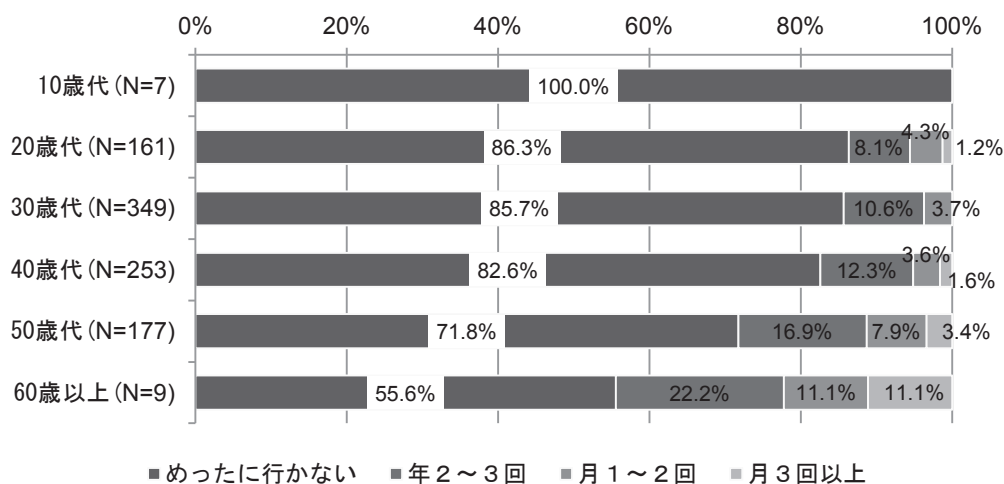


図 10-2 年齢別に見た出勤日以外の唐戸商店街の利用頻度



(7) 唐戸商店街地区にほしい店舗

唐戸商店街地区にどのような店舗があればよいか尋ねた問いでは、カフェ代わりにもなるファストフード店という回答を回答者の68.2%があげており、圧倒的に多くなっている。以下、リーズナブルなファミリーレストランが33.5%、気軽にお酒を楽しめるバーが28.1%などとなっている。とくに20歳代、30歳代といった若年層ほど、ファストフード店という回答が多くなっている。

図 11-1 唐戸商店街地区にほしい店舗（複数回答）（N=884）

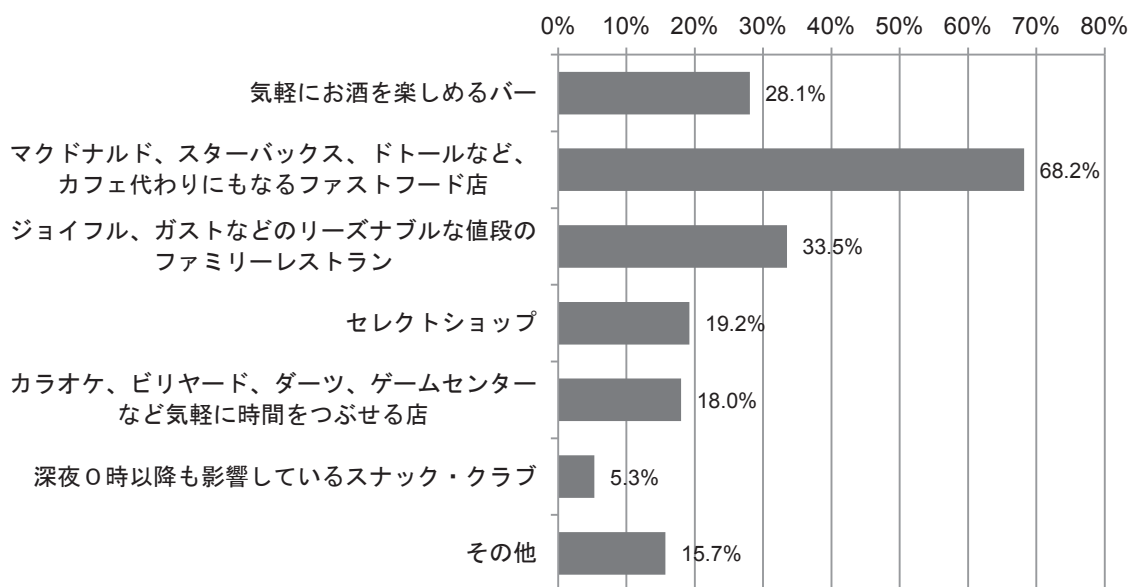
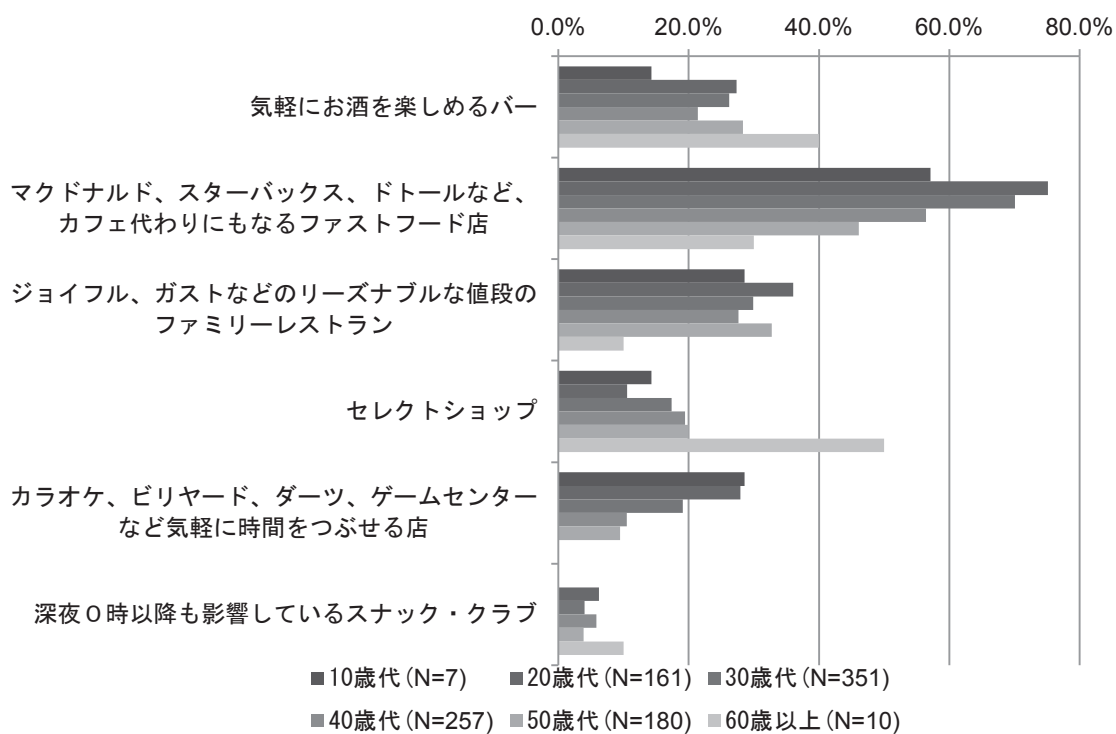


図 11-2 年齢別に見た唐戸商店街地区にほしい店舗（複数回答）



(8) 唐戸商店街地区に対する感想

唐戸商店街地区に対する感想を聞いた問いに対しては、厳しい意見が多くなっている。品ぞろえが充実しているかという問いでは、全く思わないとあまり思わないという否定的な意見が合わせて91.7%、高品質の商品が提供されているかという問いでは同89.2%に達している。

一方で、改善すべき点として、様々な業種の店が存在したほうがよいかという問いで、強くそう思うとまあまあ思うという肯定的な意見が合わせて80.0%、営業時間を改善したほうがよいかという問いでは同61.0%などとなっている。

年齢別に見てみると、若年層の方が相対的に高評価となっている。一例として、高品質の商品が提供されているかという問いでは、強くそう思うとまあまあ思うという肯定的な意見が合わせて、20歳代で15.1%、30歳代で11.7%であるのに対して、40歳代では8.1%、50歳代では8.0%と、年齢が上昇するにつれて減少している。

図 12-1 唐戸商店街地区に対する感想

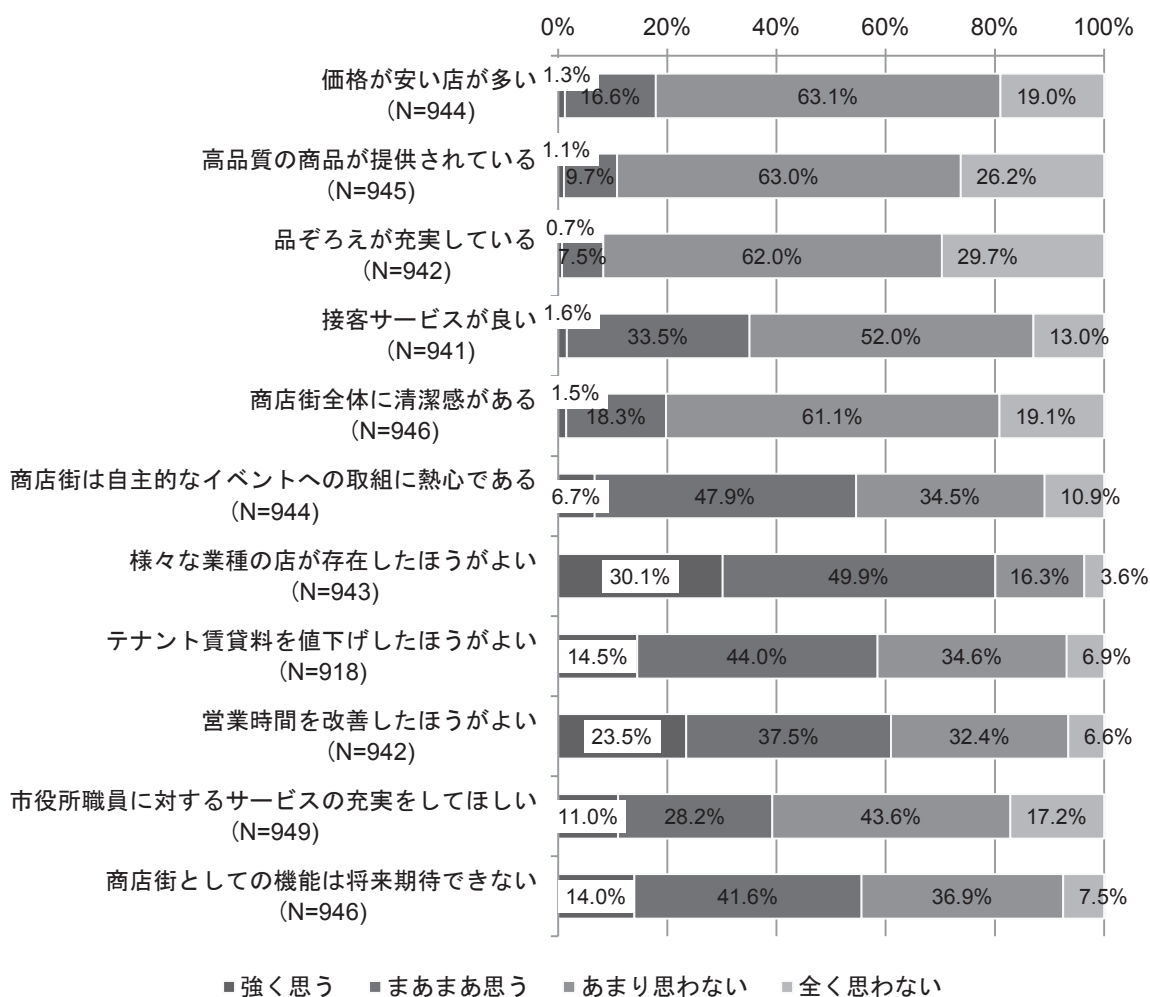
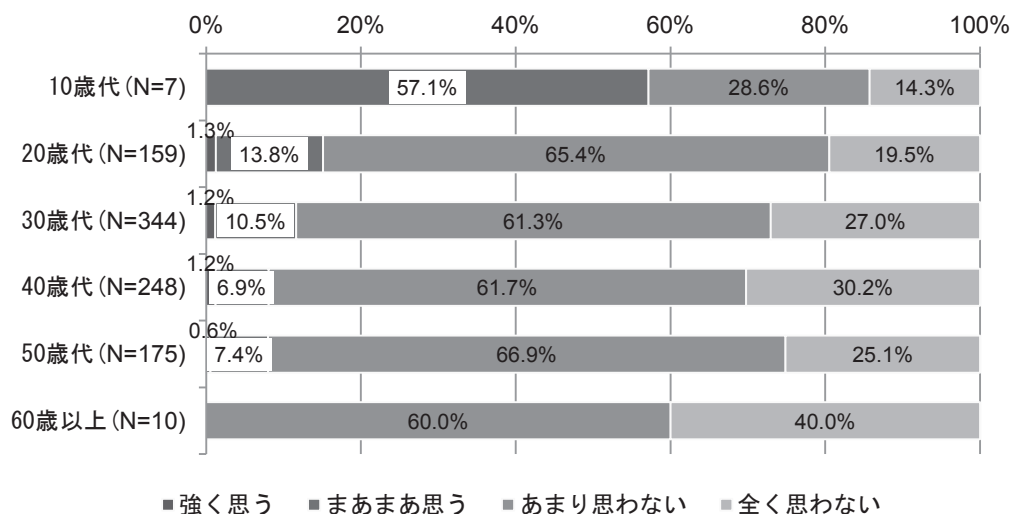


図 12-2 唐戸商店街地区が高品質の商品を提供しているかという問いに対する年齢別の回答



4 アンケート結果から得られる知見

アンケート結果から明らかとなったことは、まず下関市役所職員の唐戸商店街地区の利用は、それほど多くはないということである。もちろん下関市役所の職員は、唐戸地区周辺の住民であるとは限らないので、遠方から通勤している職員が日用品などを唐戸商店街地区で購入するということは少ないであろう。しかし、もっとも多い利用形態と想定される昼食利用においても、週1回以上の利用は27.0%にとどまっている。日々の利用という意味で考えれば、週3回以上の利用はわずか15.8%である。その理由として考えられるのは、店舗の選択肢が少ないということと、商店街のイメージの悪さではないだろうか。前者は、唐戸地区にほしい店舗としてファストフード店やファミリーレストランがほしいという回答が多かったことや、唐戸商店街地区の感想として、品ぞろえの豊富さや商品の品質に対する評価が低いことから、後者は、唐戸商店街地区の感想が全般的に低評価であることから読み取ることができる。自由意見には、配達サービスの充実、消費者ニーズにあわせた店づくり、接客サービスの向上などをあげる内容がみられた。図12-2でも示されたように、唐戸商店街地区の実情を知っていると想定される年齢層に厳しい意見がみられたのも、唐戸地区が過去賑わっていた要因を冷静に分析しつつ、時代が変化した現在、唐戸商店街地区にも大きな変化が必要であるとの危機感の表れではないだろうか。

中心市街地に立地する商店街の利用低迷は、唐戸商店街に限ったものではなく全国共通の問題である。したがって、その解決は容易なものではない。しかしアンケート結果からは、唐戸商店街の目指す方向性についても一定の示唆が示されている。唐戸地区の魅力は何かという問いに対する回答では、海響館やカモンワープ、唐戸市場などの観光施設という回答が非常に多かった。その唐戸地区に立地する商店街は、やはり観光客をも受け入れることのできる店舗構成が必要なのではないだろうか。図表としては掲示していないが、自由意見の記述でもっとも多かった回答は、土日に関店している店舗が多すぎるといったものであった。つまり、観光客が多い日に閉店しているために、

商店街に客がやってこないということである。観光施設に隣接しているという、他の商店街にはない優位点を自ら打ち消してしまっているのである。唐戸商店街が、市役所職員を対象にしているため土日営業をしない、という理由は、今回の調査結果からすると肯定できるものではない。行政機関としての市役所が存在する一方、市役所職員たちは商店街にとって大きな顧客ターゲット層である。隣接していることにより、行政機関としての施策対応を求め、求めに応じること、消費者に良質な財、サービスを提供する経営努力をすること、要求することの主体の区別が、長い歴史を経る中で市役所も商店街もお互いに混乱してしまっただろうか。

個人営業の店舗で土日も営業するということは困難なことかもしれない。しかし、唐戸地区は下関市の顔であり、そこに立地する商店街が衰退することは、地域経済の衰退にもつながってしまう。個人では困難であれば商店街全体として連携し、土日も営業している店舗を増やすことや、観光客向けの飲食店等の店舗構成の充実といったことが必要であろう。観光客が増加して、商店街の活気を取り戻すことができれば、近隣住民の利用も増えるという好循環につなげることができるはずである。近隣住民と観光客を同時に取り込むための戦略ではなく、まずは思い切った観光客向けの戦略にシフトすることで、閉塞感を打破できる可能性はある。下関市の人口はすでに減少に転じており、何の対策もとらなければ商店街はいずれ消滅するであろう。行政としてはもちろん、商店街自らが早急に対策を実施することが求められる。

唐戸商店街地区に関するアンケート調査

この調査は、唐戸商店街地区について皆さまの様々な考えをお聞きし、具体的な政策を検証するために実施するものです。以下の項目について、個人の特定はされませんので、是非正直にお答えください。

なお、このアンケート結果は統計的に処理されますので、個人情報については保護され、外部に漏れる心配はございません。どうぞ、ご協力くださいますようお願いいたします。

※ 唐戸商店街地区とは、国道9号線北側沿い、バス停西の端（すき家あたり）までをこの調査では指しています。

下関市立大学附属地域共創センター
下関市産業経済部商工振興課

問い合わせ先：下関市立大学附属地域共創センター
chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp TEL:083-254-8613

■以下の項目について、あてはまる番号に○をつけてください。 例： (1)

○あなた自身についてお聞きします。

① 年齢はおいくつですか。

(1) 10歳代 (2) 20歳代 (3) 30歳代 (4) 40歳代 (5) 50歳代 (6) 60歳代以上

② 性別はどちらですか。

(1) 男性 (2) 女性

③ 世帯構成はどちらですか。

(1) 単身世帯 (2) 2人以上の世帯

④ ご自宅から距離的に最も近いJR駅、またはバス停をご記入ください。

(JR・バス停名 _____) ※普段、利用されているかどうかは問いません。

⑤ 勤務先への主な通勤手段は何ですか。以下のうち、最も頻度が多い手段を1つお答えください。

(行き帰りの通勤手段が異なる場合、勤務先からの主な「帰宅」手段をお答えください)

(1) 自家用車 (2) バイク・原付などの二輪車 (3) バス・JRなどの公共交通機関
(4) 自転車 (5) 徒歩 (6) その他(具体的に _____)

次のページから、唐戸商店街地区に関する質問となります。
ページをめくってください。



○唐戸商店街地区の利用状況についてお聞きします。

1. 唐戸商店街地区での昼食利用（出前・コンビニ含む）ほどの程度ですか。一番近い程度の番号1つに○をつけてください。

(1)めったに利用しない (2)月1～2回程度 (3)週1～2回 (4)週3回以上

2の質問へ

1-1の質問の後、2の質問へ

1-1. (2)～(4)を回答された方にお尋ねします。一番多い利用内容1つに○をつけてください。

(1) パン・弁当等テイクアウトができる店 (2) 個人食堂 (3) コンビニ・チェーン店系食堂
(4) 出前・弁当配送 (5) その他（具体的に)

2. 唐戸商店街地区で終業後飲食する利用回数はどのくらいですか。一番近い程度の番号1つに○をつけてください。

(1)めったに利用しない (2)月1～2回程度 (3)週1～2回 (4)週3回以上

3の質問へ

2-1の質問の後、3の質問へ

2-1. (2)～(4)を回答された方にお尋ねします。一番多い利用内容1つに○をつけてください。

(1) 個人食堂 (2) 出前・弁当配送 (3) 食事レストランチェーン店 (4) 居酒屋
(5) スナック・バー (6) 割烹料亭 (7) その他（具体的に)

3. 飲み会（自分を含めた2人以上で宴席を設けることをこの調査では指します）を行う場所について、以下に示す①～⑥までの地区では、それぞれどの程度の利用頻度ですか？①～⑥までの地区、それぞれについて最も近い回数の番号に○をつけてください（この項目では、○を計6個つけることになります）。

(例) ○○地区に年に1回行く場合	(1)	(2)	(3)	(4)
-------------------	-----	-----	-----	-----

地区名	めったにしない	年1～2回	月1～2回	週1回以上
①唐戸商店街地区（カモンワーフ、消防署、商工会議所近辺の店は除く）	(1)	(2)	(3)	(4)
②豊前田	(1)	(2)	(3)	(4)
③グリーンモール	(1)	(2)	(3)	(4)
④山の田・新下関地区	(1)	(2)	(3)	(4)
⑤門司・小倉地区	(1)	(2)	(3)	(4)
⑥個人宅（自宅・他人）で宴席	(1)	(2)	(3)	(4)

4. 唐戸地区全体の魅力は何だと思われますか。あなたが最も魅力であると思う項目、1つの番号に○をつけてください。

- (1) 海響館、カモンワーフ、唐戸市場などの観光施設 (3) 歴史ある建築物
(2) 唐戸商店街をはじめとする商業施設 (5) その他（具体的に)
(4) 市役所があり行政機能の中心を担うこと

右のページに移ります

5. 唐戸地区周辺で、日用品（トイレtpーパー、洗剤など）、食材（自宅での食事用）などの買い物に行くことがありますか。①～④について、質問 3 同様に、それぞれ一番近い利用程度の番号 1 つに○をつけてください。計 4 個○をつけます。

地区名	めったに 利用しない	月 1～2 回	週 1～2 回	週 3 回以上
①唐戸サンリブ	(1)	(2)	(3)	(4)
②唐戸商店街にある個人商店	(1)	(2)	(3)	(4)
③コンビニエンス・ストア	(1)	(2)	(3)	(4)
④マックスバリュー宮田町店	(1)	(2)	(3)	(4)

6. 休日・祝日等、出勤日以外の日に、以下の施設を利用することはありますか。①～⑨について、質問 3 同様に、それぞれ一番近い利用程度の番号 1 つに○をつけてください。計 9 個○をつけます。

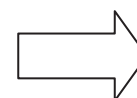
	地区名	めったに 行かない	年 2～3 回	月 1～2 回	月 3 回以上
唐戸地区 の施設	①唐戸商店街	(1)	(2)	(3)	(4)
	②カモンワーフ	(1)	(2)	(3)	(4)
	③海響館	(1)	(2)	(3)	(4)
	④唐戸市場	(1)	(2)	(3)	(4)
他地区 の施設	⑤下関大丸・シーモール	(1)	(2)	(3)	(4)
	⑥ゆめシティ周辺（伊倉本町）	(1)	(2)	(3)	(4)
	⑦コスバ新下関周辺	(1)	(2)	(3)	(4)
	⑧長府マックスバリュー（マリンホテル）周辺	(1)	(2)	(3)	(4)
	⑨長府ゆめタウン・丸和周辺	(1)	(2)	(3)	(4)

7. 唐戸商店街地区にどのようなお店があればいいと思いますか。あったとしたら利用すると考えられる選択肢があれば、番号に○をつけてください。（複数回答可）

- (1) 気軽にお酒を楽しめるバー（チャージ料が発生しない、ワンコイン料金）
- (2) マクドナルド、スターバックス、ドトールなど、カフェ代わりになるファストフード店
- (3) ジョイフル、ガストなどのリーズナブルな値段のファミリーレストラン
- (4) セレクトショップ（店主のセンスで仕入れた商品を販売している店舗。雑貨・衣料品などが主流）
- (5) カラオケ・ビリヤード・ダーツ・ゲームセンターなど気軽に時間を潰せる店
- (6) 深夜 0 時以降も営業しているスナック・クラブ
- (7) その他

具体的に、いくつでもご記入ください

残り一つの質問と、自由記述欄があります。
裏面に、ページをめくってください。



8. 唐戸商店街地区に関して、皆さまたちは現在どのようなご感想をお持ちですか。そして、より唐戸商店街地区を魅力あるものにするために、どのようなサービス、商品、施設状態に対する改善案を望まれますか。以下の質問に対して、あなたの感想に近いものを、それぞれ番号に○をしてください。この質問では、11個の○がつきます。

(例) ○○施設が清潔であると強く思う場合	(1)	(2)	(3)	(4)
-----------------------	-----	-----	-----	-----

	質問	強く思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
現状への感想	①価格が安い店が多い	(1)	(2)	(3)	(4)
	②高品質の商品が提供されている	(1)	(2)	(3)	(4)
	③品ぞろえが充実している	(1)	(2)	(3)	(4)
	④接客サービスがよい	(1)	(2)	(3)	(4)
	⑤商店街全体に清潔感がある	(1)	(2)	(3)	(4)
	⑥商店街は自主的なイベントへの取組に熱心である	(1)	(2)	(3)	(4)
改善案に関する感想・意見	⑦様々な業種の店が存在したほうがよい	(1)	(2)	(3)	(4)
	⑧テナント賃貸料を値下げしたほうがよい	(1)	(2)	(3)	(4)
	⑨営業時間を改善したほうがよい(土日・深夜営業など)	(1)	(2)	(3)	(4)
	⑩市役所職員に対するサービスの充実をしてほしい (限定回数券の発売、ポイントカードなど)	(1)	(2)	(3)	(4)
	⑪商店街としての機能は将来期待できない	(1)	(2)	(3)	(4)

○最後に、アンケート全体を通してのご意見、ご感想など、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。